

20071

TAVI Trans-Femoral アプローチの時間短縮にコメディカルが取り組んだこと

¹医療法人 名古屋澄心会 名古屋ハートセンター

澤城 梨沙¹

【背景】当院は2015年3月からTAVIを開始した。開始から、1年3ヶ月が経過し、症例数は48例となった。trans-femoralアプローチは43例経験した。開始当初は全身麻酔、cutdownで行い、入室から退室まで2時間25分を要していた。現在は、局所麻酔、punctureで1時間10分に時間短縮し、1日2例から3例のTAVIを行っている。【目的】TAVI手術時間短縮にコメディカルがいかに関与したかを、連携や業務改善という観点から明らかにすること【方法】TAVI手技全般について関連職種すべてと協議を繰り返し、各職種の課題や工夫を出し合い、最短時間でできる準備と片付け、引き継ぎ方法や人材配置の改善を行った内容について検証した。【結果】入室からドレーピングまでの時間短縮が全手技時間短縮に寄与した事が明らかであった。症例事に振り返り、次なる実践に繋がれたことが最大の要因であった。結果主要合併症の回避にも繋がれた。【結論】各職種の立場から改善点を出し、実践を重ねる事で、互いの役割を理解し、連携を図る事が重要である。多職種との連携の中で各職種を尊重し合うことで、負担の軽減に繋がり、ハートチームとしての成長にも繋がった。